

平成 19 年 3 月 26 日

各 位

会 社 名 アルゼ株式会社
 代表者名 代表取締役兼最高経営責任者(CEO)
 余語 邦彦
 (JASDAQ・コード 6425)
 問合せ先 IR広報室長 桐生 慶久
 電話番号 03-5530-3055(代表)

平成 19 年 3 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成19年2月22日付「平成19年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表いたしました、平成19年3月期通期業績予想（連結・個別）を下記の通り修正しますのでお知らせいたします。

記

1. 平成 19 年 3 月期通期の業績予想（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）

(1) 連結

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	37,800	5,500	10,100
今回予想 (B)	35,400	6,300	10,100
増減額 (B - A)	2,400	800	-
増減率 (%)	6.3%	-	-
(ご参考) 前年度実績 (平成 18 年 3 月期)	48,506	8,578	12,713

(2) 個別

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	34,000	1,500	3,700
今回予想 (B)	31,500	3,500	5,700 ()
増減額 (B - A)	2,500	2,000	2,000 ()
増減率 (%)	7.4%	-	-
(ご参考) 前年度実績 (平成 18 年 3 月期)	29,165	5,805	13,891

個別当期純利益の今回予想につきましては、特別損益の精査を行っているため確定次第、発表いたします。

(3) 通期業績予想修正の理由

(個別)

当社は、平成 19 年 2 月 22 日に通期業績予想を発表した時点で、第 4 四半期のパチスロ販売見込み台数を 15,000 台としておりました。実績としましては、平成 19 年 1 月から 2 月までの 2 ヶ月間におけるパチスロの販売実績は約 2,500 台にとどまりましたが、平成 19 年 3 月にパチスロ「やっぱりいいネ!」と「バトルシーザーXXX」の 2 タイトルを発売することを予定していたことから、2 月末時点での第 4 四半期販売計画未達分 12,500 台は 3 月の 1 ヶ月で販売できるものと計画しておりました。

既に、当社は平成 18 年 12 月より営業体制の立て直しを計画したところから、従来型の機械売り込みから、ホールの長期的な経営の為の施策を個別ホールの状況に合わせて提案する営業体制に移行させました。しかしながら、それによる新しい営業体制の構築を目指した営業社員の増強や教育、また、法人別ターゲットを明確にした営業戦略の展開が、新しい営業体制の未熟さの為予定通りには進まず、パチスロ 5 号機入替競争が進捗するなかで、販売台数が伸び悩む結果となりました。

このような状況にあって、当社は平成 19 年 2 月中旬から、体制強化への取組みを積極的に推し進めた結果とともに、新しい販売条件を打ち出す等の施策を行ってきたことにより、3 月に入ってから好転し始め、来期に向けた営業体制の基礎作りが軌道に乗ってきました。

しかし、平成 19 年 2 月 22 日に発表した業績計画の達成を左右する第 4 四半期販売計画であった 15,000 台を達成するには至りませんでした。そこで、当社としてはこれらの結果を鑑みて本日現在で第 4 四半期の販売台数は 7,300 台と見込むこととなりました。

その結果、売上高、経常利益は平成 19 年 2 月 22 日発表の予想を下回るため(上表「(2) 個別」参照) 表記のとおり通期業績予想を修正いたします。

なお、当期純利益の今回予想の取扱いについては、本日現在、期末決算における在庫の評価額等、特別損益の精査を行っておりますが、販売台数の見込みの修正に起因する経常利益の減少額と同額(2,000 百万円)の修正を致しております。

(連結)

連結業績予想につきましても、個別の修正理由に基づき、売上高、経常利益の予想を修正いたします。

なお、連結当期純利益の今回予想につきましては、当社が 24.2%の株式を保有する持分法適用関連会社であるウィン・リゾーツ社(NASDAQ:WYNN)の第 4 四半期業績が前回予想を上回った等の要因により、上記(個別)に記載した個別当期純利益のマイナス要因分(2,000 百万円)を吸収できる見込みです。

(4) 期末配当予想について

期末配当につきましては、平成 19 年 2 月 22 日付「平成 19 年 3 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」にてお知らせしたとおり、50 円を予定しております。

(注)上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と大きく異なることがあります。

以上